

MLA48

NEWS
LETTER

2021年5月9日
No. 202

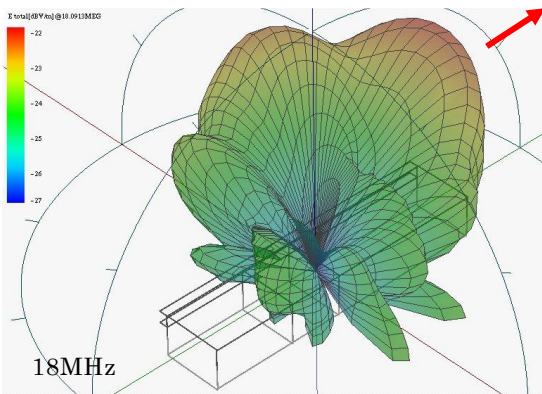
MLA48 プロジェクト

130 Members
108(JA), 22(DX)



🕒 5月度ミーティング(MLA48 通算第158回)

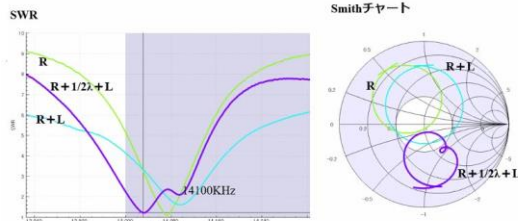
5月9日, [MLA48プロジェクト](#) オンラインミーティングを開催しました. **キホン編**は, 私 ([JG1UNE](#)) から「1m角MLAのベランダ水平設置2機」の発表. 位相差給電とYAGI-UDA方式のシミュレーションを比較解説. 14MHzと18MHzで後者をベランダに設置したところ, F/Bは得られているようです.



JHIYMC **MLA48**

切り替え機で, Rightに1/4λの遅延を入れる.

- ・合成の中心周波数: 14075KHz→14100KHz→14050KHz
- ・SWR特性のピークが急峻



続いて[JA3UOQ/1 原田さん](#)から, 「MLAの

位相差給電 PART III」. 2機の[MK-7](#)で, 切り替えのロータリースイッチ方式. ベストな運用周波数をシミュレーション. 周波数を離すとω形が現れた由. 理論とは逆のようで, 少し混乱してきました.



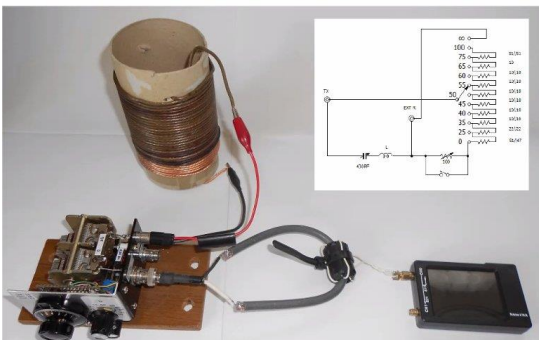
フリー編は[JA2IYJ/1 山田さん](#)から「[バタフライバリコン](#)の製作」. 自作にチャレンジして, その後[TA1LSX](#)が販売している羽も購入して比較されました(写真). つぎは, いよいよ1m角MLAに装着ですね.

続いて[JA9BQE/1 橋場さん](#)からは「パッチンコアトランスの特性について」検討結果が発表されました. 1.8MHz用 MLAの給電用ですが, FBな擬似アンテナで測定. 巻数が少ないと理論どおりにはいかないようです. またS11とS21から求めた挿入損失は, 1.8MHzで17%ほどあります.

- ① 疑似アンテナのバリコンにより1.8MHzに同調をとる 2021/5/9 JA9BQE
- ② リターンロスが30dB以上になるよう抵抗値を変化させ整合をとる
- ③ 同調・整合時の疑似アンテナ単独のインピーダンスを測定

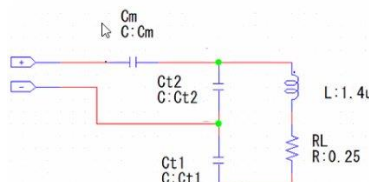
[JF1IQQ 下地さん](#)からは「[Patterson Loop](#)」の実験報告.

同調がクリティカルですが, [JA5KVK/1小川さん](#)とのコラボで, また大発見が(!?). なんとCm,Ct2は固定でOKとのこと.



Cm(14.7pF)を挿入

・チューニングはCt1だけでOK



バンド [Hz]	Cm[pF]	Ct1[pF]	Ct2[pF]
7	77	554	1000
14	14.7	164.7	200
16.5	14.7	96.3	200
21	14.7	51.08	200
28	14.7	25.8	200
50	15.4	7.45	200
100	16.7	1.82	200

結合ループ不要は朗報です! DE JG1UNE 🕒